

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島県立三次看護専門学校
設置者名	広島県知事 横田 美香

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
3年課程（全日制）	第一看護学科	夜間・ 通信	70 単位	10 単位	—
2年課程（全日制）	第二看護学科	夜間・ 通信	50 単位	7 単位	—
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	広島県立三次看護専門学校
設置者名	広島県知事 横田 美香

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	広島県立三次看護専門学校 学校評価委員会
役割	学校の教育活動及び学校運営等に関する評価を行い、学校として組織的・継続的に改善を図るため、次の役割を担う。 （1）学校評価の企画立案、分析及び進行管理 （2）学校の教育活動及び学校運営の評価 （3）学校評価に関する情報の提供 （4）その他学校評価に関し校長が必要と認める事項

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現職	1年	実習病院院長
現職	1年	実習病院看護部長
現職	1年	専門職能団体
現職	1年	同窓会会員
現職	1年	高等学校の関係者
現職	1年	地域団体の役員
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島県立三次看護専門学校
設置者名	広島県知事 横田 美香

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。														
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)														
○授業計画書(シラバス)の作成過程														
1. 年度末に授業担当教員がそれぞれの授業評価をふまえて課題を整理する。														
2. 今年度の授業担当教員は、前年度の授業評価と課題、その年度の国家試験問題をふまえて前期の授業は4月、後期の授業は9月までにシラバスを作成する。														
3. 作成したシラバスは、学校共有で閲覧可能なフォルダーに保存し、すべての教員が自分の担当科目との重複や不足がないかを確認しシラバスの最終決定を行う。														
※前年度の授業評価で大幅な内容の修正を行う場合は、教務会議(教員全員参加)で協議し最終決定を行う。														
※シラバスには、単元目標、授業の内容や方法、授業回数やスケジュール、成績評価の方法を記述している。														
○授業計画書の公表時期														
現在の公表時期は、4月以降に順次時間割が定まった後、各科目の授業開始時に配布し、説明を含めて本校学生に公表している。														
今年度は、学校のホームページ上で9月までに公表する。														
授業計画書の公表方法	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179													
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。														
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)														
授業開始時にシラバスに記載した成績評価の方法にそって、授業科目毎に学修の評価を行い、学生にあらかじめ示している評点と評価、合格判定の基準に基づいて単位を与え、履修を認定している。														
※学習の評価及び単位の認定について、入学時に学生にオリエンテーションを行っている。内容は学生便覧に記載した次のとおりである。														
「成績評価」														
ア 学科試験及び実習成績の評価は、学科試験又は実習評価、学習態度、出席状況を総合して行う。														
イ 成績評価は次のとおりとし、A、B及びCの評価を得た者に単位を認定する。														
<table><tr><td>評価</td><td>評点</td><td>可否判定</td></tr><tr><td>A</td><td>80点以上</td><td rowspan="3">合格</td></tr><tr><td>B</td><td>70点以上 80点未満</td></tr><tr><td>C</td><td>60点以上 70点未満</td></tr><tr><td>D</td><td>60点未満</td><td>不合格</td></tr></table>		評価	評点	可否判定	A	80点以上	合格	B	70点以上 80点未満	C	60点以上 70点未満	D	60点未満	不合格
評価	評点	可否判定												
A	80点以上	合格												
B	70点以上 80点未満													
C	60点以上 70点未満													
D	60点未満	不合格												

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ○客観的な成績評価の実施 広島県立三次看護専門学校学修の評価及び単位の認定規定に基づき、成績入力及び指導要録作成マニュアルにそって行う。 ① 授業科目ごとの評点(100点満点)により科目別成績表を作成する。 ② 学年末に科目別成績表の授業科目の評点を評価に変換し、学生に示している。 <table border="1"> <tr> <th>評価</th><th>評点</th></tr> <tr> <td>A</td><td>80点以上</td></tr> <tr> <td>B</td><td>70点以上 80点未満</td></tr> <tr> <td>C</td><td>60点以上 70点未満</td></tr> <tr> <td>D</td><td>60点未満</td></tr> </table> ○成績分布状況の把握 科目の合計点を科目数で割った平均点を小数点第1位まで算出し、学年末に各学生の順位を把握する。 ※ 客観的な指標に基づく成績分布状況を示す資料 添付書類 「令和7年度 第一看護学科1年生 科目別成績表」 「令和7年度 第二看護学科1年生 科目別成績表」		評価	評点	A	80点以上	B	70点以上 80点未満	C	60点以上 70点未満	D	60点未満										
評価	評点																				
A	80点以上																				
B	70点以上 80点未満																				
C	60点以上 70点未満																				
D	60点未満																				
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179																				
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ○卒業の認定に係る方針について 学則第20条の規定に基づき、規定の修業年限以上在学し、卒業に必要な単位数(学則第7条に定められた科目)を修得した者に卒業を認める。 ○卒業の認定の適切な実施について 卒業認定会議において、卒業に必要な総単位数すべて修得していることを確認し、卒業を認定する。卒業に必要な単位数は、次のとおりである。 ○第一看護学科 <table border="1"> <tr> <th>科目区分</th><th>単位数</th></tr> <tr> <td>基礎分野</td><td>14</td></tr> <tr> <td>専門基礎分野</td><td>22</td></tr> <tr> <td>専門分野</td><td>70</td></tr> <tr> <td>卒業必要単位</td><td>106</td></tr> </table> ○第二看護学科 <table border="1"> <tr> <th>科目区分</th><th>単位数</th></tr> <tr> <td>基礎分野</td><td>9</td></tr> <tr> <td>専門基礎分野</td><td>15</td></tr> <tr> <td>専門分野</td><td>50</td></tr> <tr> <td>卒業必要単位</td><td>74</td></tr> </table>		科目区分	単位数	基礎分野	14	専門基礎分野	22	専門分野	70	卒業必要単位	106	科目区分	単位数	基礎分野	9	専門基礎分野	15	専門分野	50	卒業必要単位	74
科目区分	単位数																				
基礎分野	14																				
専門基礎分野	22																				
専門分野	70																				
卒業必要単位	106																				
科目区分	単位数																				
基礎分野	9																				
専門基礎分野	15																				
専門分野	50																				
卒業必要単位	74																				
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179																				

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		2年課程	第二看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	74	49	9	16	0	0
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		14人	0人	7人	91人	98人	
(備考) (任意記載事項)							

※第一看護学科・第二看護学科共通

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）１月以降に年間の授業計画（担当教員や進度表）を順次計画し、４月以降、オンラインで時間割を教員・学生に共有し周知をしている。 各科目のシラバスは、担当教員が作成し、授業開始前に該当学生に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価については、学生便覧に記載し、入学時オリエンテーションで説明を行い、各授業科目のシラバスの中にも成績評価の方法を記載し、基準にそって評価し、学修の認定を決定している。
修了・進級の認定基準
（概要）卒業については、学則第 20 条の規定に基づき、それに基づいて定例会議の卒業認定会議を行い、卒業を決定している。 進級については、定例会議の単位認定会議でその学年で修得すべき単位の状況を確認し、進級かその学年に留まるかを決定する。
学修支援等
（概要）クラス担任制を取り、早期に面接等で学生の不安や気がかりを把握し、学習、進路、生活、健康等について相談に応じている。 また、特に学習面では成績不良の学生に対しては補講や個別指導を行い、国家試験の合格に向けた対策を行っている。

○第一看護学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
63 人 (100%)	3 人 (4.7%)	57 人 (90.5%)	3 人 (4.7%)
（主な就職、業界等） 医療機関（病院など）			
（就職指導内容） 主な実習病院を集めた就職説明会を学内で実施。 広島県主催の「就職活動講座」への参加を促している。 学校では、履歴書の書き方や面接練習などの支援をしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験の合格率の推移（※両学科合わせた合格率）			
	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
本校（％）	94.0	98.4	94.2
全国（％）	93.2	95.9	94.1
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
161 人	6 人	3.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日頃の学習面・生活面での様子が気になる場合は、個別に声をかけ、面接を繰り返し行っている。本人の意思を大事にしながら自己決定できるように支援している。		

○第二看護学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 医療機関（病院など）			
(就職指導内容) 主な実習病院を集めた就職説明会を学内で実施。 広島県主催の「看護職の就職セミナー」への参加を促している。 学校では、履歴書の書き方や面接練習などの支援をしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験の合格率の推移（※両学科合わせた合格率）			
	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
本校（%）	94.0	98.4	94.2
全国（%）	93.2	95.9	94.1
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日頃の学習面・生活面での様子が気になる場合は、個別に声をかけ、面接を繰り返し行っている。本人の意思を大事にしながら自己決定できるように支援している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
第一看護学科	県内 5,650 円	132, 000 円	1 年次 72,000 円	
	県外 7,910 円		2, 3 年次 60,000 円	
第二看護学科	県内 5,650 円	132, 000 円	1 年次 72,000 円	
	県外 7,910 円		2, 3 年次 60,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
○自己点検評価を行い、学校運営等の課題を発見し、実施方法等の見直しを図り、継続的な改善に取組み評価結果を公表する。 ・専修学校における学校評価ガイドラインに基づいた主な評価項目：教育理念・教育目的、教育目標 ○学校関係者評価委員会を設置し、学校関係者評価を実施する。 ・学校関係者会議の構成：定数 7 名以内 ・構成員：実習医療機関関係者、専門職能団体の関係者、同窓会会員、高等学校の関係者、地域団体の役員等 ○評価結果の活用方法 学校評価の結果を次年度の学校運営等に反映させる。 ○学校関係者評価委員会における評価結果と改善の取組みは、ホームページに掲載する。 【令和 8 年度から実施予定】 ・学校関係者委員会を設置する。 ・令和 7 年度に実施した評価項目等の見直しを行い、修正後の項目により自己点検評価を実施する。 【令和 9 年度以降の予定】 ・自己点検評価と学校関係者評価の両方での評価の実施 ・令和 12 年度に第三者評価を受ける予定		
第三者評価の委員 (※学校評価委員について記載)		
所属	任期	種別
市立三次中央病院	1 年	実習医療機関院長
市立三次中央病院	1 年	実習医療機関看護部長
広島県看護協会	1 年	専門職能団体
三次看護専門学校同窓会	1 年	同窓会会員
広島県立日彰館高等学校	1 年	高等学校の関係者
がん体験者の会とま〜れ・県北	1 年	地域団体の役員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179		
(備考)		
※第三者評価は令和 12 年度実施を検討しているため、学校関係者評価 (学校評価委員) に関する情報を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/179>